

令和 3年度（2年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	参画・協働によるコミュニティの再生		課(室)名	コミュニティ推進課
	施策	地域コミュニティの自立・活性化		電話番号	087-839-2277
	基本事業	コミュニティ活動の支援		事業実施主体	市
	事務事業	地域まちづくり交付金事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	地域コミュニティ協議会が主体的に行うまちづくり活動を支援し、住民自治及び市民と行政との協働による地域自らのまちづくりを推進するため、地域コミュニティ協議会に対して、地域の各種事業・団体に交付される補助金を一元化して交付する。主体的・積極的なまちづくりの促進とコミュニティ活動を担保するための新たな財源とし、使途について地域に裁量権を付与すること。平成26年度には、交付算定基準を変更するとともに、敬老会事業の在宅者分事業費を一元化した。平成29年度には、課題解決応援加算を創設した。地域コミュニティ協議会数 44 均等割、人口割、面積割等、地域まちづくり交付金交付要綱に基づく地域まちづくり交付金を交付 課題解決応援加算の新規申込停止				
3年度概要					
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）	


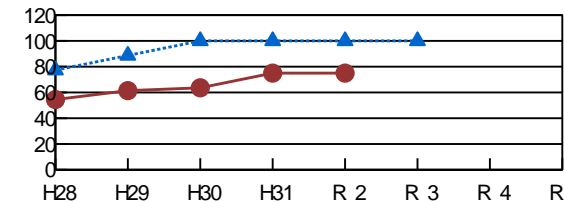
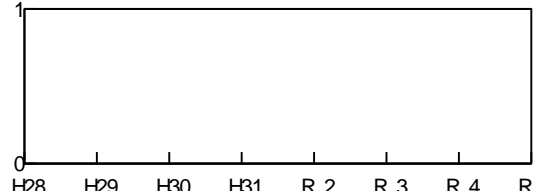
【事業の目的】

対象（何を）	市内全域の44地域コミュニティ協議会
意図（どのような状態にしたいか）	一元化した交付金を地域コミュニティ協議会に交付することによって、地域コミュニティ協議会の裁量で交付金配分し、主体的に地域の課題に取り組むことができる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H30	H31	R2	R3	中期目標 R4
補助金交付件数	件	44	44	44	44	44

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H30	H31	R2	R3	中期目標 R4
コミュニティプランの見直し率	%	目標値	100	100	100	100	100
		実績値	63.6	75	75		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 各地域コミュニティ協議会における課題や特性に合った事業が実施できるよう、コミュニティプラン見直しの支援に努めたが、新型コロナウイルス感染拡大により、地域内での会議等を予定どおり開催できないことから、見直しが進まない地域が多く、目標達成に至らなかった。 （目標達成度） 							
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H30	H31	R2	R3	中期目標 R4
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							

【コストの推移】

指標名	単位	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（予算）
トータルコスト	[千円]	318,052	312,947	300,897	304,068
（事業費）	[千円]	305,197	303,083	289,674	292,845
（職員人件費）	[千円]	12,855	9,864	11,223	11,223

【評価】

評価ランク（A～D）	B	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	改善継続
------------	---	--------------------------	------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

新型コロナウイルス感染拡大により、当初予定していた事業が実施できなくなったが、各地域コミュニティ協議会では、事業の見直しを行い、開催方法を変えて実施したり、新たな事業を実施したりするなど、これまで以上に工夫しながら交付金を活用することができた。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

今後、地域コミュニティ協議会や関係各所の意見を踏まえつつ、地域側の成熟度の向上を見据え、地域にとってより使いやすい、地域が住民に説明責任を果たせる交付金制度を検討していく必要がある。

令和 3年度（ 2年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	参画・協働によるコミュニティの再生		課(室)名	コミュニティ推進課
	施策	地域コミュニティの自立・活性化		電話番号	087-839-2277
	基本事業	コミュニティ活動の支援		事業実施主体	市
	事務事業	コミュニティ推進事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	一般社団法人高松市コミュニティ連合会への運営補助金の交付、地域のリーダー養成を目的とした人材養成事業の実施、コミュニティ活動備品の整備などを行い、地域コミュニティの自立と活性化を図るもの。				
3年度概要	一般社団法人高松市コミュニティ連合会の活動支援 人材養成事業等の開催				
重点取組事業	市長マニフェスト	3-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）	

【事業の目的】

対象（何を）	一般社団法人高松市コミュニティ連合会、各地域コミュニティ協議会、地域コミュニティ関係者
意図（どのような状態にしたいか）	地域コミュニティ協議会及びその連合体である一般社団法人高松市コミュニティ連合会の組織を強化し、地域コミュニティの自立と活性を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
講演会等の開催回数	回	2	2	2	2	2

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4	
講演会・講習会の参加者数	人	目標値	410	410	410	410	410	
		実績値	472	195	105			
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 新型コロナウイルスの感染拡大防止により、多数の人を集めての研修を開催することはできなかったため、定期的を開催している会議の機会を捉え、議題の1つとしてコミュニティプランの見直しに係る説明を行ったが、参加者数は前年よりも減少した。		(目標達成度)					(達成度)	25.6%
								8点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4	
		目標値						
		実績値						
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）		(目標達成度)					(達成度)	

【コストの推移】

指標名	単位	平成 30年度（決算）	平成 31年度（決算）	令和 2年度（決算）	令和 3年度（予算）
トータルコスト	[円]	37,541	40,365	42,886	44,000
（事業費）	[円]	29,223	32,018	31,663	32,777
（職員人件費）	[円]	8,318	8,347	11,223	11,223

【評価】

評価ランク（A～D）	D	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	改善継続
------------	---	--------------------------	------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

令和 2年 9月に法人格を取得した一般社団法人高松市コミュニティ連合会の運営の支援を行った。地域コミュニティ協議会関係者を対象とした市長感謝状贈呈式を開催した。人材養成事業という形で研修を行うことはできなかったが、コミュニティ協議会の関係者が集まる機会を捉え、コミュニティプラン見直しに係る助言等を行った。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

人材養成事業の内容の見直しや、研修の開催方法等を、一般社団法人高松市コミュニティ連合会とも協議しながら検討していく。また、協働推進員制度や市政出前ふれあいトークなどを利用して、地域コミュニティの理解促進や地域へのサポート体制強化を図っていく。

令和 3年度（ 2年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	参画・協働によるコミュニティの再生		課(室)名	コミュニティ推進課
	施策	地域コミュニティの自立・活性化		電話番号	087-839-2277
	基本事業	コミュニティ活動の支援		事業実施主体	市
	事務事業	自治会再生支援事業		事業期間	令和 2年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	地域コミュニティの中心的役割を担う自治会の活動を支援することで、地域の連帯感を取り戻し、地域みずからのまちづくりを目指す。 自治会の在り方等検討プロジェクトチームで検討された自治会支援策を踏まえて、地域と行政とで共に自治会再生に向けた新たな取り組みを実施し、自治会のみならず、地域コミュニティの再生を目指す。				
3年度概要	研修 PR 企業表彰 マイタウン・サポートリーダー 自治会実態把握調査				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）	

【事業の目的】

対象（何を）	各地区（校区）連合自治会及び単位自治会、高松市コミュニティ協議会連合会
意図（どのような状態にしたいか）	単位自治会の再生 各地区（校区）連合自治会及び単位自治会の活性化

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
市政出前ふれあいトークの開催回数	回			3	10	10

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
成果指標	自治会加入率	%	目標値			62.4	62.4	62.4
	実績値					54.4		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 自治会の加入促進策に取り組んだが、加入率の減少に歯止めがきかなかった。 (目標達成度)							(達成度) 87.2%
				30点				
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 30年度（決算）	平成 31年度（決算）	令和 2年度（決算）	令和 3年度（予算）
トータルコスト	[円]			17,957	18,716
（事業費）	[円]				759
（職員人件費）	[円]			17,957	17,957

【評価】

評価ランク（A～D）	B	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	拡充
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

自治会の在り方等検討プロジェクトチームにおいて取りまとめられた最終報告書をもとに、新たな自治会再生支援施策の検討を行った。今後は、自治会加入率の増加に向けた自治会の再生及び活性化に向けた支援施策の実施が必要である。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

地域での防犯・防災対策や高齢者・子どもの見守り活動など、自治会の必要性を周知するなど、自治会加入を啓発するとともに、自治会の在り方等検討プロジェクトチームからの検討結果を踏まえ、今後の自治会の再生及び活性化に向けた新たな施策を実施する。